

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 17/Feb/2020/vol.577



純白の慶びを... ホワイト・エディブル・フラワー（ビオラ・ホワイト）Viola white

数十年前、初めてエディブルフラワーが食材として登場した当時、赤やピンクなどと比較して白い花はお皿の色と同化するという理由で、一瞬にしてラインナップから消えてしまったことがありました。しかし近年はお使いになるシーンも増えてまいりまして、「白い花」の需要が年々伸びております。お祝いの席でのテーブルウェアも今では多様化し、欧米の様なガーデンウエディングや、洋風の真っ白な装花が随所に目に入り、逆に「白」という色が浮き出して、高貴で美しくスタイリッシュなイメージが増幅されるのかもしれませんが。それを表すように、お料理におきましても「白」の美しさが様々なシーンで目に入るようになりました。エディブルフラワーの白い花もアミューズ、メインの飾り、可愛らしいドルチェの上に実に高貴な印象で使われているのを度々目にいたします。白色は古代日本においても「太陽の光のような神聖な色」とされ「儀式の白装束」や「白無垢」にも表されているそうです。白いエディブルフラワーも四季に応じて冬花のビオラから春夏のトレニア、そして夏秋のペントスなどが季節に応じて華やぎの出番を待っております。